

## 第12回葛飾区基本構想・基本計画策定委員会【全体会】 会議録

- 場 所 : 葛飾区医師会館 講堂  
○日 時 : 令和3年1月21日(木) 13時30分～14時25分  
○出席者 : 中林委員長、河合副委員長、河原委員、谷川委員、太田委員、安田委員、橋本委員、大浦委員、浅野(幸)委員、吹本委員、岩田委員、谷本委員、田中委員、大山委員、谷茂岡委員、藤井委員、武者委員、矢部委員、吉田委員、松村委員、石川委員、菊入委員、川名委員、長委員、秋本委員、山口委員、千島委員、佐々木委員、矢作委員、倉持委員、大畑委員、高橋委員、千田委員、菊池委員、田口委員

(発言者の敬称略)

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 「葛飾区基本構想」(素案)に対する区民意見提出手続(パブリック・コメント手続)の実施結果について

- 資料1 「葛飾区基本構想」(素案)に対する区民意見提出手続(パブリック・コメント手続)の実施結果

副委員長 委員長が到着するまでの間、進行を務めることとする。パブリック・コメントの意見を踏まえ、基本構想の文章が変わったところなどはあるか。

事務局 今回、本文を変えた部分はない。

#### (2) 葛飾区基本構想(案)について

- 資料2 葛飾区基本構想(案)について

- 資料3 新基本構想(素案)からの変更点

副委員長 これ以降、委員長に進行をお願いする。

委員長 ご意見、ご質問等あれば、お伺いしたい。

委員 基本構想1ページの将来人口の表について、外国人人口が総人口の構成比のように見える。総人口に対する外国人人口の割合であることが分かるような表に改めた方がよい。

事務局 年少人口、生産年齢人口、老年人口の年齢構成比と、総人口に対する外国人人口の内訳であることが分かるようにする。

委員 江戸時代から今日に至るまでの下町概念を表す「東京低地」という言葉がある。東京低地という言葉は、基本構想1ページの「本区の置かれている自然的、歴史的、社会的な諸条件」や下町人情にもつながる。「郷土と天文の博物館」の展示でも東京低地が強く出ているので、区を理解するキーワードとして、東京低地という言葉をごどこかに入れてほしい。

委員長 東京低地という言葉は確かに学術的に使われているが、東京の東側の低地全体、首都圏の東側の低地のことである。従来、「下町低地」という言葉を使ってきたが、これは東

京用語であり、埼玉でも千葉でも使わない。下町低地として、東京低地の一部とするようなかたちになるかと思う。

委員 「滞在」という言葉を入れてもらったが、「滞在施設を誘致する」などの文言が入っていると素敵と思う。区として取り組んでもらいたいと思っている。

委員 葛飾区基本構想（説明資料）の2ページ「図表2 葛飾区総人口の推移」について、2009年から40万人以上の推移になっており、3ページ目の「2060年までの葛飾区将来人口」も40万人を切ることがない見込みで推計している。10～20万人の部分はカットして、それ以上のところからのグラフとすると、推移が見やすくなると感じた。

委員 葛飾区基本構想（説明資料）の1ページに葛飾区の地図があるが、金町から新小岩を縦につなぐ線路が入っている地図を使ってほしい。

委員長 これらのご意見について、最終案に向けて検討してほしい。

事務局 基本構想（案）は、今まで様々なご意見をいただき、検討に検討を重ねた上で本日提示している。また、説明資料は、基本構想がどのように定まったのかを後世に伝える貴重な資料になると思う。今いただいたご意見を踏まえ、背景等についても記録に残しながら、最終的な基本構想案としたい。

### （3）葛飾区基本構想に関する検討結果報告について

○資料4 葛飾区基本構想・基本計画策定委員会検討結果報告（案）

委員長 資料4について質問等はあるか。資料4は本委員会の検討結果を区長に渡すときの鑑文である。

各委員 （意見等なし）

委員長 本日のご意見については区長に伝え、最終的に区が基本構想及び基本計画を取りまとめていく際に検討経過を十分に踏まえて検討するようお願いして参りたいと思う。他にご意見、ご質問がないようであれば、本日の議事は以上とする。

### 3 その他

委員 資料4について、今回の全体会を入れて5回か。本日の次第は全体会⑥となっている。

事務局 開催の通知を出したが中止になった回があるので、回数としては6回目だが、1回開催しなかったのが「5回」とした。

委員長 他にご意見、ご質問はないか。

各委員 （意見等なし）

### 4 閉会

以上